



3年生の皆さん、ご卒業おめでとう！

今日の良き日、卒業を迎えた3年生の皆さん、おめでとうございます。

卒業式にあたり、今年度の優等賞、3カ年皆勤賞を初めとした各賞の表彰者の皆さんを、その努力を称えここにご紹介します。なお()内は出身中学校です。

この他の皆さんもそれぞれの努力が実り49名が県内外の企業に就職内定し、進学者は大学に5名、短大に10名、専門各種学校に40名が合格しました。

産業教育振興会中央会長賞

常世田 明音(藤岡東)

全国農業高等学校長協会会長賞

塩原 安美香(矢中)

中里 陽菜(藤岡北)

高橋 怜実(小野)

全国福祉高等学校長会理事長賞

富田 葵(入野)

群馬県産業教育振興会長賞

A組 廣瀬 莉里香(藤岡東)

B組 茂木 龍太(藤岡西)

C組 荻野 亜弥(藤岡北)

群馬県測量設計業協会会長賞

茂原 浩隆(吉井西)

群馬県学校農業クラブ連盟賞

小山 智大(高南)

優等賞 9名

*3年間を通して学業成績が優秀であった生徒に贈られます。

A組 井田 ひなた(玉村南)

塩原 安美香

廣瀬 莉里香

B組 常世田 明音

中里 陽菜

原 真歩心(藤岡東)

C組 井上 亜子(藤岡東)

小川 ひなた(大類)

高橋 怜実

3カ年皆勤賞 18名

A組 海蓋 彪河(藤岡北)

関沼 紗耶(藤岡東)

服部 瑞樹(高南)

廣瀬 莉里香

北條 朱羅(矢中)

B組 今井 伸(藤岡西)

小野 愛莉(高松)

工藤 良介(高南)

清水 実和(佐野)

富田 麻祐(玉村南)

三ツ森 真咲(藤岡北)

森田 心結(鬼石)

八木 彩乃(藤岡北)

C組 井上 亜子

瓜田 悠希(小野)

荻野 亜弥

宮地 波音(藤岡西)

3カ年精勤賞 25名

*3年間の皆勤はかないませんでした。が、欠席・遅刻等がごくわずかであった生徒に贈られます。

A組 阿久澤 翼(南八幡)

神田 遥香(佐野)

齊藤 佑生(藤岡北)

佐藤 丈一郎(佐野)

嶋田 涼凧(藤岡北)

瀬尾 拓也(倉賀野)

高岸 麗華(前橋七)

中村 琉介(矢中)

根岸 昌央(玉村南)

宮澤 天空(藤岡東)

B組 阿佐美 美桜(藤岡北)

飯塚 萌(藤岡北)

今井 菜々美(藤岡北)

浦野 紗那(高南)

古賀 皓史(藤岡北)

澤入 鈴(藤岡東)

常世田 明音

西村 さくら(藤岡西)

山本 窓日(高松)

C組 木村 修人(矢中)

小嶋 紗也香(藤岡北)

富田 琉華(佐野)

松本 杏実(佐野)

本木 志歩(小野)

吉井 勇生(佐野)

生徒クラブ功労賞

*生徒クラブ功労賞は、部活動・農業クラブなどの活動において県大会で優秀以上の賞を受賞した生徒に贈られます。

A組 金山 理子(藤岡西)

岩井 彩香(新町)

B組 今井 菜々美

常世田 明音

澤入 鈴

清水 彩香

中里 陽菜

C組 茂原 浩隆

櫻井 晴奈(小野)

高橋 怜実

端 海衣那(安中一)

藤岡市教育委員会教育長学芸奨励賞

今井 菜々美

茂原 浩隆



全国造園デザインコンクール全国第1位

第48回全国造園デザインコンクール住宅庭園部門にガーデニングコースの3年生13名が出品し、高橋怜実さんが「パーソナライズガーデン～create a sense of well-being～」で最優秀の特別賞である、全国高等学校造園教育研究協会会長賞を受賞しました。本校からの特別賞受賞は、約30年ぶりの快挙です。

また、端海衣那さんの「Dedicada a Gaudi」も佳作を受賞。入賞10作品のうち藤岡北高校から2作品選出という成果を上げることができました。

高橋怜実さんの作品

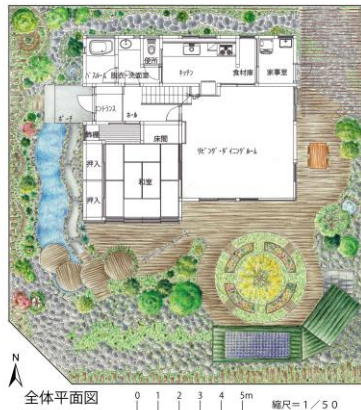
住宅庭園計画図

パーソナライズガーデン～create a sense of well-being～

設計主旨

子供・親・植物・畜・社会などの成長過程にあわせた庭づくり＝well-beingを生み出す。
Well-being＝肉体的、精神的、社会的に満たされた状態、持続的な幸福。

近年は生物・性別・年齢・障害の有無・働き方など、さまざまな多様性が重視されるようになり、環境が豊かになり成長していきなりました。そんな中で多様な価値観にあわせて、家族や植物、畜の人の幸せになれるよう、パーソナルに変化させる空間をつくりました。



メインガーデン「愛される鉢」

これは子供、親、植物の成長にあわせて多様な愛を育む空間です。成長していく過程でたくさん記憶と思い出を具現化し、形に残せることを目的としています。



アプローチ「溢け込むスロープ」

この階段は子供が小さい頃に遊びの場としてあえて設けつつ、自然の体勢が自然になった時に、スロープになるようになっています。こうしたことで、住居の成長に応じたデザインの変化を楽しむことができます。



境界のデザイン「空間を変える扉」

この扉は家の外と内、動物の出入りなどを上手にコントロールする扉です。鉢植えの植物を配置し、それを動かすことで、住居の成長や性格、地域の治安や社会状況によって空間の使い方を変えることができます。



セットバック記憶の壁

この壁は子供の成長に応じて穴をあける仕様で、小さかった頃の自分を思い出したり、自分の思い出を振り返ることができるようになっています。壁の裏には子供のペン字を用い、前には散歩中に気軽にくつろげる空間、住居には思い出を残せる空間として楽しむようになっています。

《 作品解説 》 高橋怜実さんの作品

この庭園は、子供や親・植物などの成長にあわせた庭づくりにより「Well-being」（持続的な幸福感）を生み出すことを目的としました。メインガーデンでは子供と親がともに樹木を育てながら愛情を育み、親の永眠後もその記憶は大樹に宿り続けることをデザインしました。この作品は庭のデザインが目的ではなく、庭園を通した家族の愛情のデザインを目指しました。

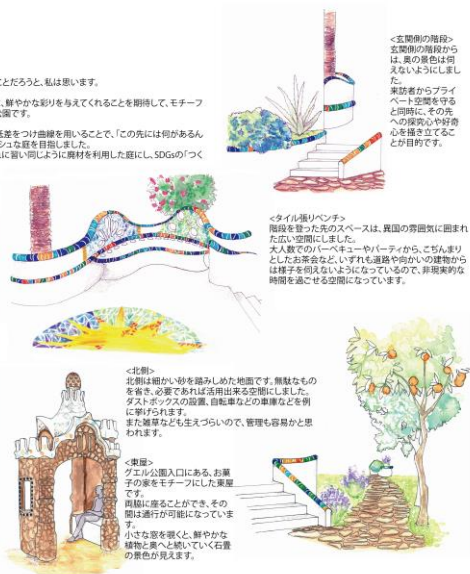
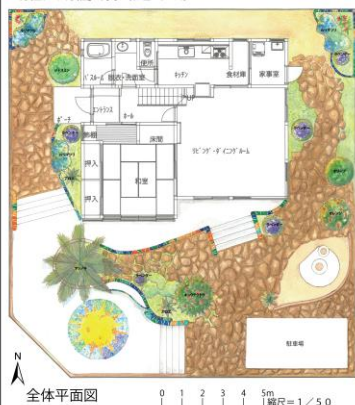
端海衣那さんの作品

住宅庭園計画図

Dedicada a Gaudi

設計主旨

終わりの見えないコロナ禍の鬱々とした日々、人々が抱えるストレスは著しく、多くの方が以前の生活のような楽しさや自由さを求めていることだろうと、私は思います。そこで建築したいのが、その（パーソナル）です。未だ海外への旅行が伸びないどころか、不要不急の外出を控えるようになってきた日々、鮮やかな彩りを与えてくれることを期待して、モチーフに選んだのはスペインのバルセロナにある、建築家アントニ・ガウディ設計のグエル公園です。建築物の立体的な色彩鮮やかな装飾は、魅惑的でありながら、自然と調和しています。豊かな色彩はそのままに、圧迫感の無い程度の壁や床やプライベート空間を確保し、高低差をつけ曲線を引くことで、「この先には何かあるだろう」「秘密基地みたい」「などワクワクした思いを覚悟を味わえる、個性あるデザインを提案しました。また、ガウディの建築は割れたタイルやガラス瓶の底、ガラスなどで作られているため、それに似ているように廃材を利用した庭に、SDGsの「つくる責任、つかう責任」に同時に取り組みました。



《 作品解説 》

端海衣那さんの作品

スペインが誇る建築家ガウディの代表作であるグエル公園をモチーフにした庭園をデザインしました。この色彩豊かな庭園は見ただけで気持ちを明るくさせます。また、高低差や曲線を多用し、「この先に何があるのだろうか？」とワクワクさせる仕掛けを作りました。本家であるグエル公園は、割れたタイルやガラス瓶の底が利用されており、それに倣い同じように廃材を利用した庭にし、SDGsの「つくる責任、つかう責任」に取り組みました。